



# 共に考え・共に創る大学図書館の未来

## — 学生協働の拡がり と 繋がり —

2014年10月9日(木)～10日(金)

第55回中国四国地区大学図書館研究集会

『大学図書館新時代のサービスを考える ～学生の視点から～』

# 本日の内容

- テーマと論点
- 学生の視点／学生協働
- お茶の水女子大学の取組み
- 大学図書館の未来

# 本日の内容

- テーマと論点
- 学生の視点／学生協働
- お茶の水女子大学の取組み
- 大学図書館の未来

# 研究集会のテーマと論点

開催要項から読み取れること

- テーマ
  - ✓ 『大学図書館新時代のサービスを考える ～学生の視点から～』
- テーマに含まれる要素
  - ✓ 大学図書館新時代
    - 新時代とは？※中教審(審議まとめ)(H24.3)
  - ✓ 新時代のサービス／学生の視点
    - 新時代のサービスとは？
    - 学生の視点とは？
- 論点
  - ✓ 学生の主体的な学修に応えるためにどんな課題があるか
  - ✓ どのような可能性や質的転換が考えられるか

※中央教育審議会大学分科会大学教育部会

「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」(審議まとめ)(H24.3)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm)

# 研究集会のテーマと論点

- 中教審(審議まとめ)「予測困難な時代において…」で、図書館はどのように捉えられている？

(教育課程や学修支援環境の充実)

図書館に言及

どんな文脈で？

○ 関係機関においては、学士課程教育の質的転換を支える学修支援環境(ティーチング・アシスタント(TA)(※)等の教育サポートスタッフの充実、ICTを活用した双方向型の授業や教学システムの整備、学生に対する経済的支援、学生の主体的な学びのベースとなる図書館の機能強化など)の実態把握、効果的な教育を行うためのコスト分析やそれに基づく支援のほか、大学におけるスタンダードで良質な教科書等の教材の作成や学生の思考力や表現力を引き出す有効な教育方法の開発・研究に対しても積極的に支援することが必要である。

※中央教育審議会大学分科会大学教育部会

「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」(審議まとめ)(H24.3)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm)

※中央教育審議会

「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」

(答申)(H24.8) [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm)

# 研究集会のテーマと論点

- 中教審(審議まとめ)「予測困難な時代において…」で、教育はどのように変わることが求められている？

今、大学に求められるもの—学士課程教育の質的転換—

○ 質を伴った学修時間の実質的な増加・確保

○ 学生の主体的な学びに不可欠

生涯学び続け、主体的に考える力を持った人材を育成する能動的な学修には、授業のための事前の準備、授業の受講、事後の展開といった「学修時間の増加・確保」が不可欠。

○ 教員が意識改革し、個々の授業が変わることが必要

関係機関が、以下の取組を含めて、各大学の大学教育の質を変えるための積極的な取組を継続的に支援することが必要

図書館は何ができる？

学内にはどんな取組みがある？

※中央教育審議会大学分科会大学教育部会

「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」(審議まとめ)(H24.3)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm)

# 研究集会のテーマと論点

- 「大学は主体的に学ぶところ」との原点に立ち返るためには？

資料の下調べや読書、思考などの「授業のための事前の準備」、あるいは授業内容の確認や理解の深化のための探究などの「事後の展開」などは、大学における学修の本質である主体的な学びそのもの。

「審議まとめ」では、これらの学修のために時間をかけることが学士課程教育の質的転換に不可欠であるとの観点から、各大学は質を伴った学修時間の実質的な増加・確保を始点として学士課程教育の質的転換に直ちに取り組み、また、関係機関はそれを支援・奨励することを提言。  
(中略)

その際、予測困難な時代を生き抜かなければならない若者や学生の力を具体的に伸ばすために、大学や教員、社会は今こそ行動することが必要だという認識の共有が必要。

特に、「大学は学生が主体的に学ぶところである」という原点に立ち返るために、学生を始め大学関係者や保護者、企業関係者、地域やNPOの関係者等と直接積極的に議論を交わし、熟議を深めることも重要。

※中央教育審議会大学分科会大学教育部会

「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」(審議まとめ)(H24.3)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1319183.htm)

# 本日の内容

- テーマと論点
- 学生の視点／学生協働
- お茶の水女子大学の取組
- 大学図書館の未来



# 学生の視点／学生協働

- 学びの主体である学生の視点の必要性
- 学生の視点を取り入れる手法

## ①外側の立場からの視点

- ✓カウンターなどでの直接的な意見や図書館での行動(来館者のみ)
- ✓学生懇談会などの場(大学生活全般／図書館独自)
- ✓アンケート(大学生活全般／図書館独自)
- ✓インタビュー
- ✓投書・意見箱 …など

批判的・否定的・  
無関心層も狙うなら  
こちら

## ②内側／中間的な立場からの視点

- ✓学生協働

図書館応援団  
になってくれる  
学生さん達



# 学生協働の定義と類型①

- 学生協働とは、「**図書館業務の一端を、職員とともに、利用者でもある学生が担う活動**」と定義※)。
- 各活動によって、内容も組織形態もさまざまであるが、「**自発的・自律的に学習支援に関与し、図書館スタッフの一員としての働きをする学生スタッフ**」が、学生アシスタントや学生サポーターなど様々な名称で呼ばれている。ここではそうした学生協働に関与する学生を、総称して「**学生スタッフ**」と呼ぶ。
- 単純作業を行う労働力としての「**学生アルバイト**」と異なり、**学習支援・キャリア形成支援、学生スタッフを通じた他の学生への学習支援**などを目的に掲げているところが特徴的。
- 「まっぷ」では、各事例を「**図書館業務サポート**」「**学生選書**」「**学習支援**」「**学生サークル・その他**」の4つの主な活動内容に大別して掲載。

※) 動向レビュー: 大学図書館における学生協働についてー学生協働まっぷの事例からー / 八木澤ちひろ  
カレントアウェアネス, No.316 2013年6月20日  
<http://current.ndl.go.jp/ca1795>

# 参考情報

## ● インターンシップ

「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した  
就業体験を行うこと」

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/sangaku2/1346604.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/sangaku2/1346604.htm)

「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」

平成26年4月(高等教育局専門教育課)

経費負担や学生に対する報酬支給の扱いなどは多様な例がある

アルバイト＝労働 / 賃金

インターンシップ＝就業体験 / 報奨金

## ● 学内ワークスタディ

「大学生が学びながら自分の大学で働くこと」

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/029/houkoku/1300569.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/029/houkoku/1300569.htm)

今後の学生に対する経済的支援方策の在り方について(論点整理)平成22年12月

(1)図書館や就職支援センターの窓口業務  
(2)下級生に対するゼミの案内や論文指導  
(3)友人関係や生活で悩みを抱える学生の  
相談役 など  
・予算:総額約5億円  
計約5千人に1人当たり10万円分の補助の  
予定  
47Newsより(2013/04/08【共同通信】)  
[http://www.47news.jp/CN/201304/  
CN2013040801001380.html](http://www.47news.jp/CN/201304/CN2013040801001380.html)

# 学生の就業スタイルと要件

- お茶大図書館の就業スタイル
    - LiSA: インターンシップ、報奨金、謝金
    - LALA: ティーチングアシスタント、給与、非常勤職員
    - MuSA (Museum Student Assistant): 給与、謝金
    - 夜間開館アルバイト: 給与、非常勤職員
  - 考慮すべき点
    - 学業に支障が出ないか
    - 保険に入っているか(「学生教育研究災害保険(学研災)」または他のインターシップ対応の保険に加入していること)
    - 勤務管理(謝金: 出勤表 / 非常勤職員: 出勤簿)
    - 目的に沿った内容になっているか
- ⇒ 管理業務は総務担当が活躍！ + 活動はほぼ全員体制

## 学生協働の定義と類型②

- 学生協働ワークショップin東京2014※)における定義(原案:東京女子大学・橋本氏)

### 大学図書館における学生協働の定義

大学図書館において、学生同士あるいは学生と職員が共通の目的のため、協力して共に活動すること

期待される効果:

- ①大学図書館の運営・活動の活性化がはかれる
- ②学生の図書館利用が促進される
- ③学生の学習支援につながる
- ④協働する学生自身、職員自身の成長がはかれる

- 「**図書館サポート**」と「**ピアサポート**」の2つに便宜上分類  
(⇒**LISA**)                      (⇒**LALA**)

※)東京女子大学、早稲田大学、お茶の水女子大学の協働企画・運営による  
<http://www.lib.ocha.ac.jp/lib-student2014.html>

# 本日の内容

- テーマと論点
- 学生の視点／学生協働
- お茶の水女子大学の取組み
  - LiSA: Library Student Assistant
- 大学図書館の未来

# お茶の水女子大学の概要

- 1875年(明治7年) 東京女子師範学校開校 開学
- 学生:約3,000名 +  $\alpha$ 
  - 学部生:約2,000名(3学部) 大学院生:約1,000名(1研究科)
  - 研究生、科目等履修生、聴講生、etc.
- 教職員:約500名 +  $\alpha$ 
  - 教員:約300名 職員:約100名 附属学校園:約100名
  - リサーチ・フェロー、アソシエイト・フェロー、非常勤講師
  - アカデミック・アシスタント、ティーチング・アシスタント
- キャンパス内に様々な世代の学びの場が集結
  - ナーサリー(保育園)、幼稚園、小学校、中学校、高校(女子)

# お茶の水女子大学の理念

- 大学憲章に掲げられた標語
    - 「お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場として存在する。」
  - ミッション
    - グローバルに活躍する女性リーダーの育成
  - 校歌「**みがかずば**」
    - みがかずば 玉もかがみも なにかせん 学びの道も かくこそありけれ
  - 「**migakazuba**」リーダー育成理念 (リーダーシップ養成教育研究センター:2008-)
    - 「みがかずば」とは、たゆまぬ自己研鑽の精神／コンピタンス体系
      - 心遣い (自分と異なる意見も尊重し他者に配慮できること)
      - 知性 (問題を適確に捉え解決すること)
      - しなやかさ (難しい局面にも自信を持って柔軟に対応できること)
- 他者との関わり  
の中で育まれる  
(⇒コモンズの理念)
- 附属図書館の理念 (2006年制定)
    - 「お茶の水女子大学附属図書館は、時間と空間を超える知的交流の場であり、次世代の知を創造し発信する学術情報基盤として機能する。」



# お茶大図書館改革の3つの柱

## 2007年～

- 空間機能
  - ラーニング・コモンズの設置(情報基盤センターとのコラボレーション)
  - キャリアカフェの設置(学生・キャリア支援センターとのコラボレーション)
- 蔵書・コンテンツ
  - 学生用図書の実充(21世紀型リベラルアーツのテーマに応じた多彩な資料)
  - 研究用コンテンツの実充(電子ジャーナルのタイトル:2,400→13,000)
- 人的支援
  - 図書館サポーターを組織(図書館ファンから図書館サポーターへ)
    - LiSA: Library Student Assistant (2007～)
  - ラーニング・コモンズのヘルプデスクを設置
    - LA(ラーニング・アドバイザー)(TA)がPC等のトラブル解決 ⇒LALA(2014～)

「共に学び、共に成長する」

# LiSAとは

LiSA = **L**ibrary **S**tudent **A**ssistant

学生と図書館スタッフの**協働**による  
**図書館活性化のための活動**

- 図書館での業務の体験を通し、幅広い資料に実際に接していただくことによる**学習支援**に併せて、**高い職業意識の形成**や利用者としてサポートを受け取る側から**サポートする側になることによるキャリア意識形成**などを目的に実施
- 報奨金(500円/時間)を支給(=学内インターンシップ)

# LiSAの活動期間 & 参加者数

4月～9月、10月～3月 年2回募集

2007年11月スタート

第1期 13名

第14期 31名

第15期  
募集中



文教:16名, 理:5名, 生活:9名, 大学院:1名

1年:4名, 2年名:11名, 3年11名, 4年:4名, M2:1名

合計193名(のべ458名)が参加

# 自主性を尊重するプログラム

4月、10月に応募(初めての期では:面談)



キックオフミーティング



学生自ら、期間中に40時間程度の  
業務計画を立てる

月はじめに業務計画表を提出(月ごと)



申告した時間に業務



期間終了後に実施報告書を提出



学長・図書館長連名による修了証を授与

顔合わせ:  
自己紹介や  
自主企画紹介

学生の申請により  
業務時間が決まる

振り返りの  
機会

LISAからの提案に  
より、期末MGも

職員は学生  
からの申請に  
基づいて  
仕事を準備

日常的な交流

学生から  
意見や感想、  
提案を  
聞く機会

# LiSA業務内容①

## ●第15期LiSA業務一覧

### (通常業務)

- 1.請求記号(図書請求記号データの入力)
- 2.資料管理(新着図書のIDラベル・背ラベル貼付、寄贈図書の入力、その他)
- 3.図書除却(不要図書のIDラベル・背ラベル処理、廃棄作業、寄贈箱詰めなど)
- 4.図書選書(見計い図書の選書、重複調査、選書ファイル作成)
- 5.図書装備(タトルテープ貼付、ブッカー付けなど)
- 6.書架整理(資料の配架、書架の整頓など)
- 7.図書修理(破損本の修理など)
- 8.重複抜取(オープン書庫の重複本抜取作業)

### (自主企画)

- 9.自主企画(企画展示、図書館見学、その他)

# LiSA業務内容②

## ●第15期LiSA業務一覧

### (臨時業務)

以下の業務は、臨時業務となります(その都度募集します)。

- 10. TeaPot (論文情報等の入力、スキャニングなど)
- 11. CC文庫 (キャリアカフェ文庫の選書・装備・POP作成・蔵書点検)
- (12. 蔵書点検:前期のみ)

### (オプション)

- 13. **Twitter投稿** (通常業務の前後10分程度)

開館情報の自動配信設定、その日のイベントやニュース、または業務の感想などを、職員の指導のもとにツイート(初心者でも大丈夫!)

現在、Twitter活用メンバー募集中

- 14. **LiSAブログ**

自主企画の進捗報告や実施報告など

# 業務の様子①

## バーコード貼付



## 修理



## 書架整理



# 業務の様子②

国会図書館就職説明会



企画展示



自主企画 ミーティング



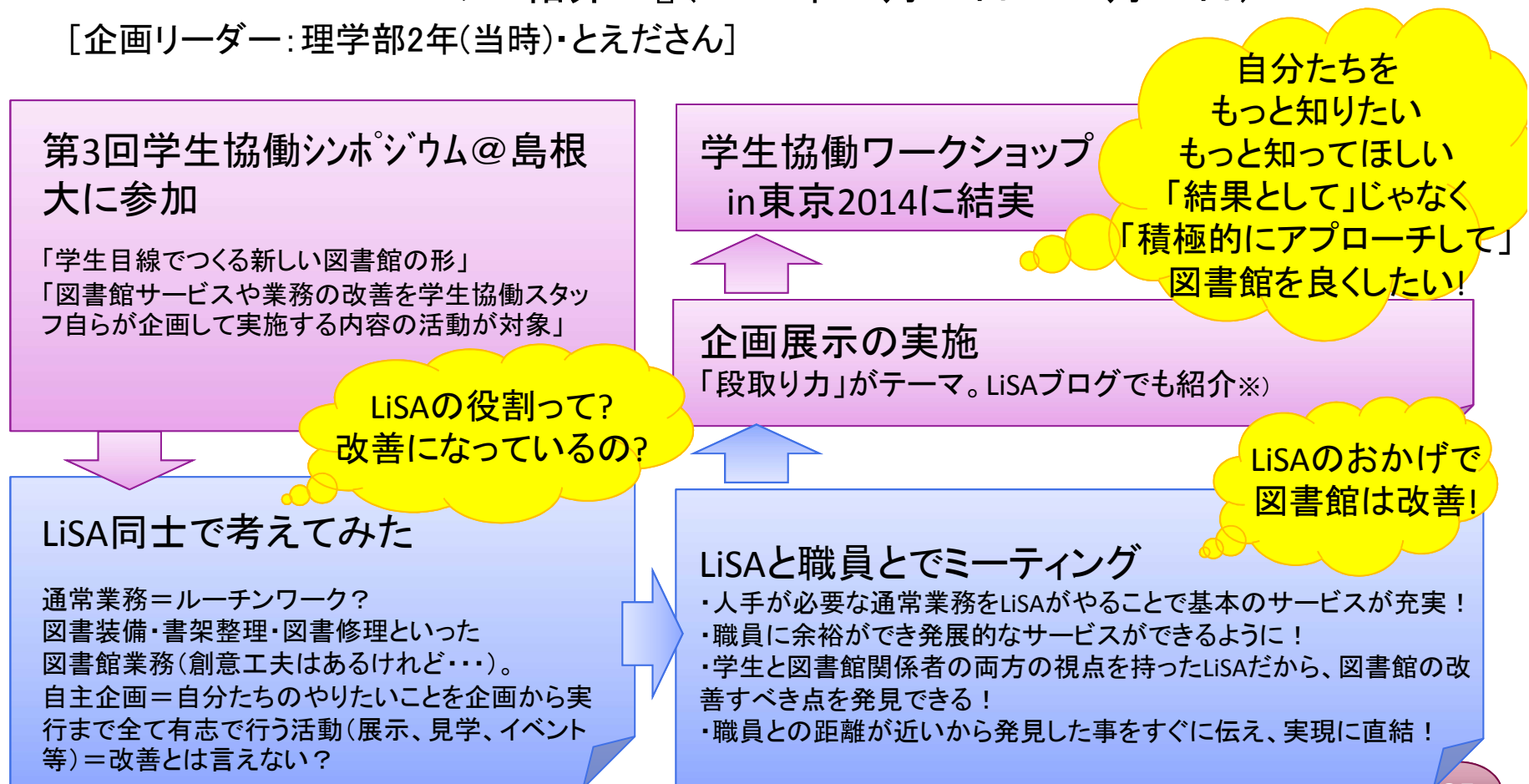
新入生図書館ツアー





# 自主企画の事例① (平成25～26年度)

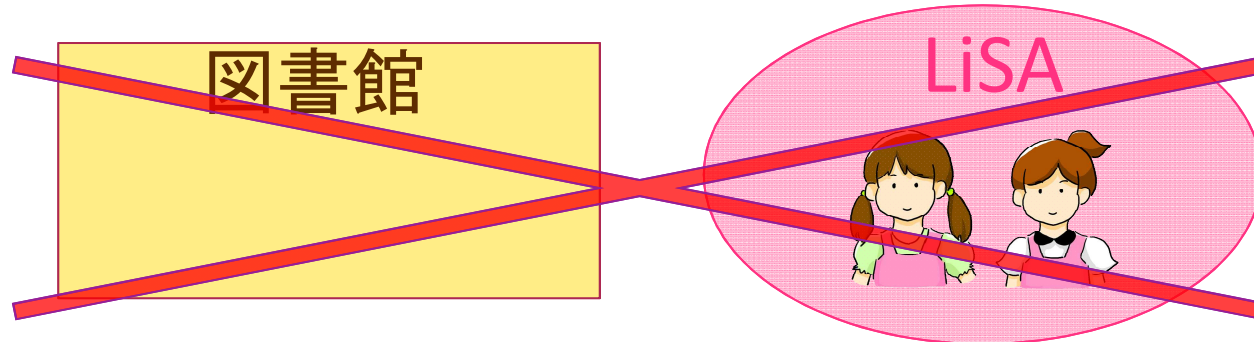
- 自主企画展示: 『わたしたち、お茶大LiSAです！～お茶大Library Student Assistantのご紹介～』(2013年11月11日～12月13日)  
 [企画リーダー: 理学部2年(当時)・とえださん]



※)「LiSAの役割って?(シンポジウムのご報告・発表編)」<http://ochadailisa.blog32.fc2.com/blog-entry-822.html>

# 特徴

- 図書館が募集するインターンシップ
- 謝礼をいただいて働く
- 一人一人が図書館の一員として活動



# 自主企画の事例② (平成26年度)

- 自主企画：『学生協働ワークショップin東京2014』（2014年9月17日）  
 [企画リーダー：理学部3年・とえださん] (LiSAの先輩たち・仲間たち)  
 (東京女子大学の「My Life My Library」に関わる仲間たち、早稲田大学のLIVSの仲間たち)

「学生協働の交流イベント、東京  
 でできたらいいな」  
 ……その一言から全てが始まった

## パートナー探しと基本方針

三大学の共同企画⇒職員同士のミーティング：  
 東京女子大学の橋本さん、山本さん  
 早稲田大学の長谷川さん  
 お茶の水女子大学の餌取さん

基本方針：  
 顔が見える範囲(セミオープン)  
 企画の中身は学生主体

## 学生同士のミーティング (顔合わせ)

- ・司会：とえださん／書記：こじょうさん  
 事前の準備・役割分担、当日の準備・役割分担  
 発表、ワールドカフェのテーマと段取り

○プログラム：司会：早稲田大学・長谷川

- 13:00~13:10 ワークショップ開催の趣旨 (お茶の水女子大学・森)
- 13:10~14:00 取組発表 (図書館サポート) 1 大学 10 分
- 14:00~15:00 取組発表 (ピアサポート) 1 大学 10 分
- 15:00~15:10 休憩
- 15:10~16:30 ワールドカフェ  
「テーマ：図書館をもっと良くするためにできること」
- 16:30~16:50 全体振り返り
- 16:50~17:00 閉会挨拶 (東京女子大学・山本)

※オプション：12:00~12:30 お茶大図書館見学ツアー by LiSA

○参加大学・活動

図書館サポート	ピアサポート
跡見学園女子大学：図書館ボランティア	お茶の水女子大学：LALA
お茶の水女子大学：LiSA	筑波大学：ラーニングアドバイザー
東京大学：新図書館計画アカデミック コモンズサポーター	東京女子大学：学習コンシェルジェ
東京女子大学：サポーター／ボランティアス タッフ	東京学芸大学：学習サポーター
早稲田大学：図書館ボランティア LIVS	立教大学：ラーニングアドバイザー



# 『学生協働ワークショップin東京2014』 ～大学図書館における学生協働の拡がり～

## ■ 概要:

参加者: 学生33名、職員26名、合計59名

参加大学:

東京女子大学、早稲田大学、お茶の水女子大学のほか、跡見学園女子大学、筑波大学、東京大学、東京学芸大学、立教大学から学生が発表。ほか、4大学から職員がオブザーバ参加

## ・アンケート結果

回収数: 学生22名、職員14名、合計36名

回収率: 学生67%、職員: 54%、合計61%

ほぼ全員:

「参考になった」/「継続したい」

自由記述:

「聞く(インプット)だけでなく、話す(アウトプット)ができたのが良かった」

「話し合いを通して共通の問題点が見え、他大学の取組を参考することにより、解決への糸口が見つかることもあった」

ワールドカフェ「図書館をもっと良くするためにできること」

さまざまなアイデアが出る中、「良い図書館とは何か」「大学教育の中での図書館とは」といった根源的な問いも発せられ、議論が深まった

自らを知り、他の取組を知り、  
バラエティに富んだ  
可能性の拡がりに気づき、  
共通の課題と解決へのヒントを  
得られた

LiSAちゃん  
meets  
LALAさん

# 自主企画の事例③ (平成25～26年度)

- 自主企画展示：『世界の子どもの本～ようこそお茶大へ～』  
 (2014年3月4日(火)～3月26日(水))  
 [企画リーダー：文教育学部2年(当時)・きたむらさん]

国際交流課からJBBY(社団法人 日本国際児童図書評議会)とのコラボのお誘い

2013年前期(第12期)の期末ミーティングで自主企画にならないか、職員から提案

LiSAの先輩からの声掛け  
「児童書とか学校図書館興味あるんだよね？」⇒「やってみようかな・・・」

まず、対象を知ることから  
国際子ども図書館の展示を見学  
JBBY事務局訪問

『バリアフリー絵本展』  
JBBYとのコラボ第2弾へ

魅力は：  
 自分で活動の幅を広げていける  
 職員の方々から丁寧な援助・  
 サポートが受けられる

企画～実施、そして次にツナゲル活動

- ・宣伝、活動記録も兼ねてブログの更新をまめに※)
- ・キャリア育成授業「お茶の水大学論」での発表

こだわったこと

- ・お茶大感を出すこと(本は他の図書館等でも巡回展示されている)  
→留学生さんとPOP作り、協定校のある国をピックアップ
- ・ミニ講演会の実施(JBBY事務局長、文科省子どもの読書推進担当者)
- ・附属への広報(幼稚園、小学校、中学校、高校)  
(児童書・絵本の対象年代を考えて)

※)LiSAブログ「世界の子どもの本」で検索！

<http://ochadailisa.blog32.fc2.com/?q=%E4%B8%96%E7%95%8C%E3%81%AE%E5%AD%90%E3%81%A9%E3%82%82%E3%81%AE%E6%9C%AC>

# 自主企画の事例④ (平成26年度)

- 自主企画：『選書ツアー＆POPづくり交流会』  
(2014年8月28日(木)、9月26日(金)) [企画:文教育学部1年・おかじまさん、生活科学部2年・たかしまさん、理学部3年・こんどうさん]

5月:ホームカミングデー  
「今、お茶大生が読みたい本200冊」を展示販売  
ハイクオリティなPOP⇒  
作り方を知りたい!という声

7月:明治大学の学生サポーター  
(4月から活動始めたばかり)との交流  
⇒POP一緒に作る?

数日後:企画書が届く  
「選書ツアー＆POPづくり交流会」  
目的:スキルアップ+交流、今後の段取り

検証したい:POPがある本は  
貸出率が高い!?

利用の  
増加に直結!?

新着図書コーナーへの  
配架・飾りつけ

企画書を出して方針が  
認められたら、どんどん  
動く&職員に任せる  
ところは任せる

9月:POPづくり交流会  
・宣伝、活動記録も兼ねてブログの更新をまめに※)  
・当日のプログラムや、ウェルカムボードも自作

8月:選書ツアー  
職員側で段取り(選書ツアーで使える金額、選書のルール、書店さんとのやりとり、当日の引率/明大さんとのやりとり)

※) LiSAブログ「POP交流会」で検索! <http://ochadailisa.blog32.fc2.com/?q=POP%E4%BA%A4%E6%B5%81%E4%BC%9A>



## 第13期LiSAの声（実施報告書より）

- ・LiSAとしての仕事が直接利用者に影響するということを実感し、改めて真摯に作業することの大切さを学びました。
- ・図書館というのは多くの人に支えられて成立しているのだと改めて感じました。
- ・とても古い本が大切に保存されているのを知って、時間を越えた知的交流の場としての図書館の意味が少し分かった気がします。
- ・普段はなかなか係わる機会の少ない専門以外の分野の本にも興味を持ち、実際に読むこともでき、収穫の多い業務であると感じました。
- ・自主企画でリーダー役を務め、責任感や先を見通して計画を立てることなど、普段の業務とは違ったとても貴重な経験ができました。
- ・社会に非常に近いところで自主的に考え、動き、実現する流れを経験できるのは、LiSAならではの思いです。

# LiSAをとおして体得できる 「社会人基礎力」※1)

- **前に踏み出す力(アクション)**  
主体性・働きかけ力・実行力
- **考え抜く力(シンキング)**  
課題発見力・計画力・創造力
- **チームで働く力(チームワーク)**  
発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール

「業務報告書」からも  
社会人基礎力  
が身につけられる場  
になっていると言えそう

第12期LiSAキックオフミーティング  
鷹野景子図書館長「**経験は力**」

今後の改善点としては…

「自主企画に参加しなくても、メールの書き方等の基本的なビジネスマナーを  
意識してもらえそうなプログラムにしていけたらいいと思う」※2)

※1) 経済産業省 <http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/>

※2) 職員対象「学生協働に関する意識調査」より



# 本日の内容

- テーマと論点
- 学生の視点／学生協働
- お茶の水女子大学の取組み
  - LALA: Library Academic Learning Advisor
- 大学図書館の未来

# 悩みごと

## 空間／人的支援に関すること

### ● 経費（LAの人的費／PC導入・保守費）

- 特別経費「学生主体の新しい学士課程の創成 -21世紀型リベラルアーツと複数プログラム選択型専門教育-」  
→平成25年度で終了

### ● 規模

- いつも混んでいる、席と席が近い
- イベントをしていると自習スペースが足りなくなる

### ● 中身

- LAの業務内容はPCやプリンタのサポートが中心  
→それって「ラーニング」アドバイザーと言えるの？  
→いわゆる「アクティブ・ラーニング」の場になっているの？
- 情報リテラシー教育支援のあり方は？

# 新しい展開①

- 新図書館構想に取り組むことに(6月)
  - 附属図書館運営委員会の下にWGを設置
  - サブグループ(空間機能、蔵書・コンテンツ、人材育成)を設置
  - メンバーは、教員4名、職員4名
- 新図書館を創立140周年記念事業と位置付けることに(11月)
  - 寄付事業
  - 一部局から全学へ

## 新しい展開②

- 新図書館構想WG報告書を提出(2月)

「創造的学びと人類智が交差する空間をめざして:  
～お茶の水の源泉から世界の大海へ～」

### 新しい図書館の三つの柱(ビジョン)

(1) 知の源泉となる蔵書・コンテンツの充実を図ります

(2) 創造的学びの場としての空間機能を提供します

(3) 人類智が交差する場として人と人とのつながりを

支援します→新しい人材の開発育成・コミュニティ作り

# アクティブ・ラーニングって①

- 「読解・作文・討論・問題解決活動において分析・総合・評価のような高次思考課題を行う学習スタイル」

山内祐平ほか「ワークショップデザイン論」慶應義塾大学出版会、2013.6

- ...Student must do more than just listen: They must read, write, discuss, or be engaged in solving problems.

Charles C. Bonwel and James A. Eison “Active Learning: Creating Excitement in the Classroom” ASHE-ERIC Higher Education Reports, 1991

能動的学習：受動的学習  
≠動的学習：静的学習 両方の要素  
があるのでは？

# アクティブ・ラーニング実践例①

- LIDEE“Life Innovation by Design and Engineering Education” <http://www.eng.ocha.ac.jp/lidee2013.pdf>  
ワークショップ形式を基本とした「問題解決型」のプログラム

## 「アクティブ・ラーニング」としてのLIDEEの特徴

- ✓ チーム作業：自分の考えを他者に伝え、また他者の考えを知ることを体験してもらうため、チームによる作業が基本
- ✓ ワークショップ：結果では無く過程を重要視すること、多様な視点や考え方の「気づき」を体験してもらうため、ワークショップ形式での作業を行う
- ✓ 現場調査や専門家の参加：机上の議論だけでは無く街に出てヒアリングをするなど、現場での体験を重視。できるだけ外部の専門家をお呼びして、現場の声を聴く機会を設定

出典：松田雄二『新図書館構想WG 空間SG「LIDEE」プログラムの報告』  
平成25年9月10日 新図書館構想WG第2回打合せ資料

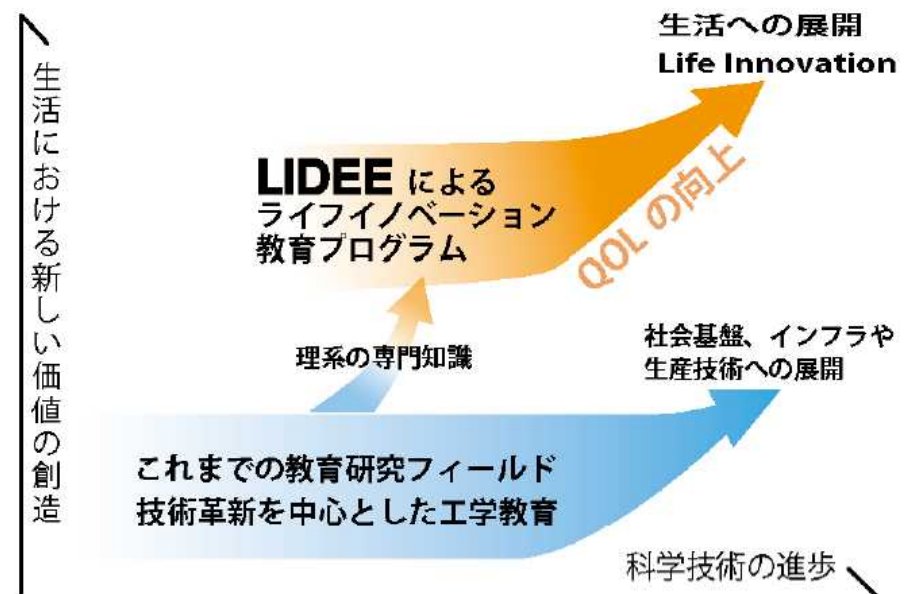
## アクティブ・ラーニング実践例②

- LIDEE“Life Innovation by Design and Engineering Education”

LIDEEの活動から見た求められる空間

- ✓ ワークショップの場所
- ✓ 発表・講評の場所
- ✓ 情報の加工の課題

＋事前調査やアイデア出しのスキルも必要？



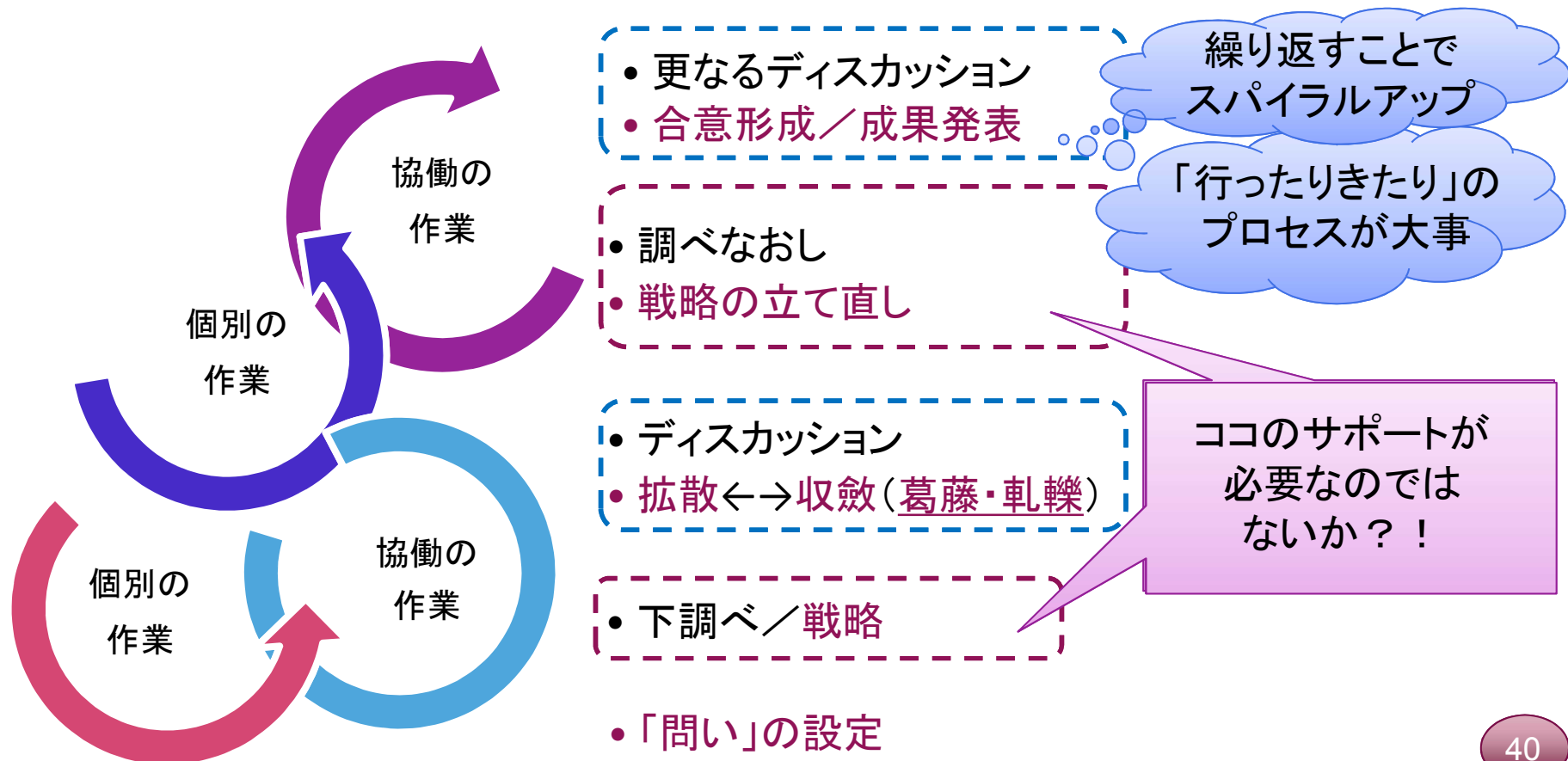
出典: 松田雄二『新図書館構想WG 空間SG「LIDEE」プログラムの報告』

平成25年9月10日 新図書館構想WG第2回打合せ資料

URL: <http://www.eng.ocha.ac.jp/lidee.html>

# アクティブ・ラーニングって②

- 学修のプロセスは一方向ではない
- 場所は教室だけでも図書館だけでもない





# 新図書館構想WGの取組み

## ● 学生へのアンケート①

- LA科目「知覚認知と環境デザイン」(第4回)のワークシート
- 有効回答数:180(1学年500人 1-2年生中心 全体の1割)

(1) 図書館の中に、お気に入りの場所がありますか？

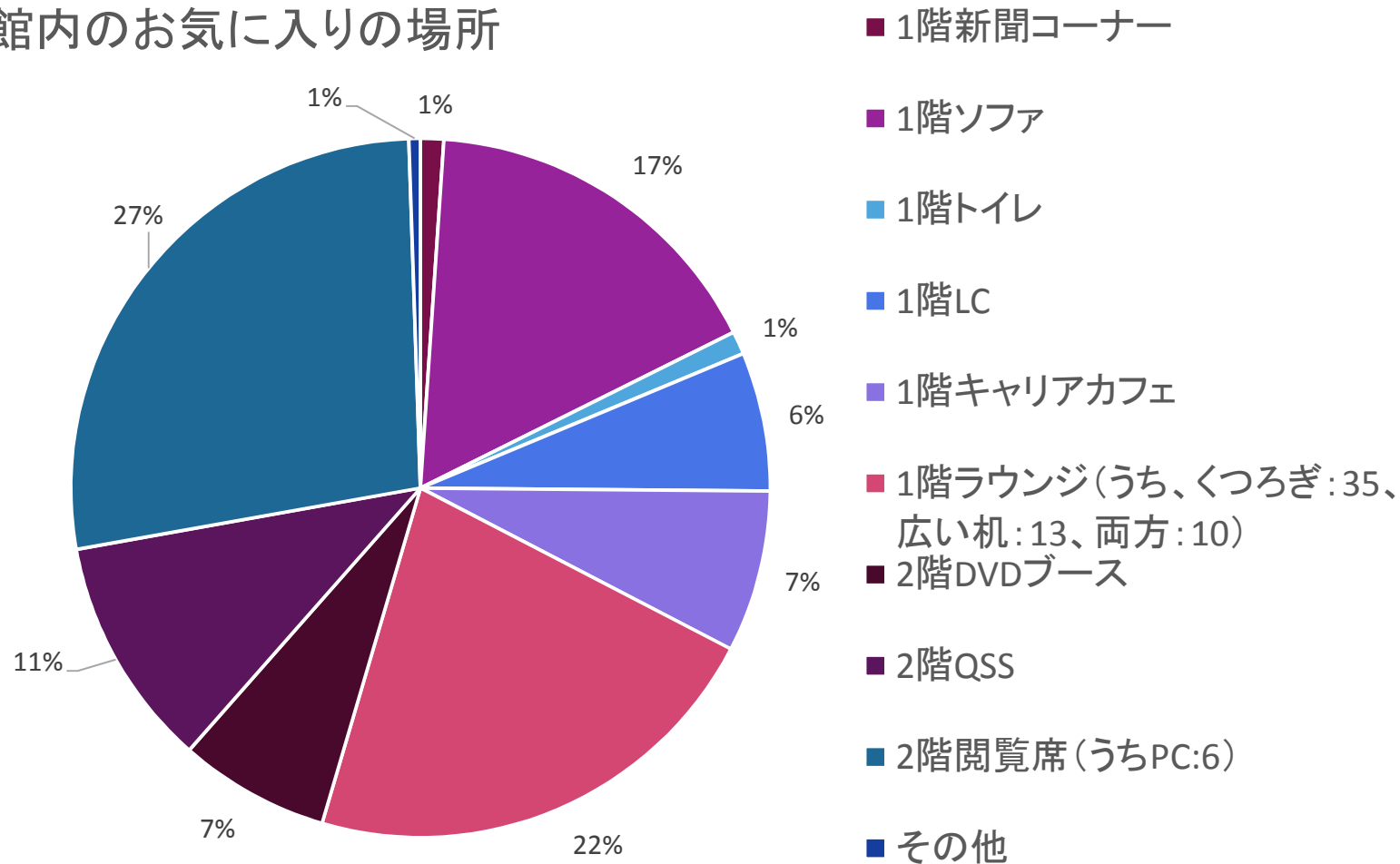
- それはどこですか？ 2階閲覧席／1階ラウンジ／1階ソファ
- どうしてお気に入りなのですか？ 集中できるから／集中・コミュニケーション両方／寝られるから

(2) 人的支援について

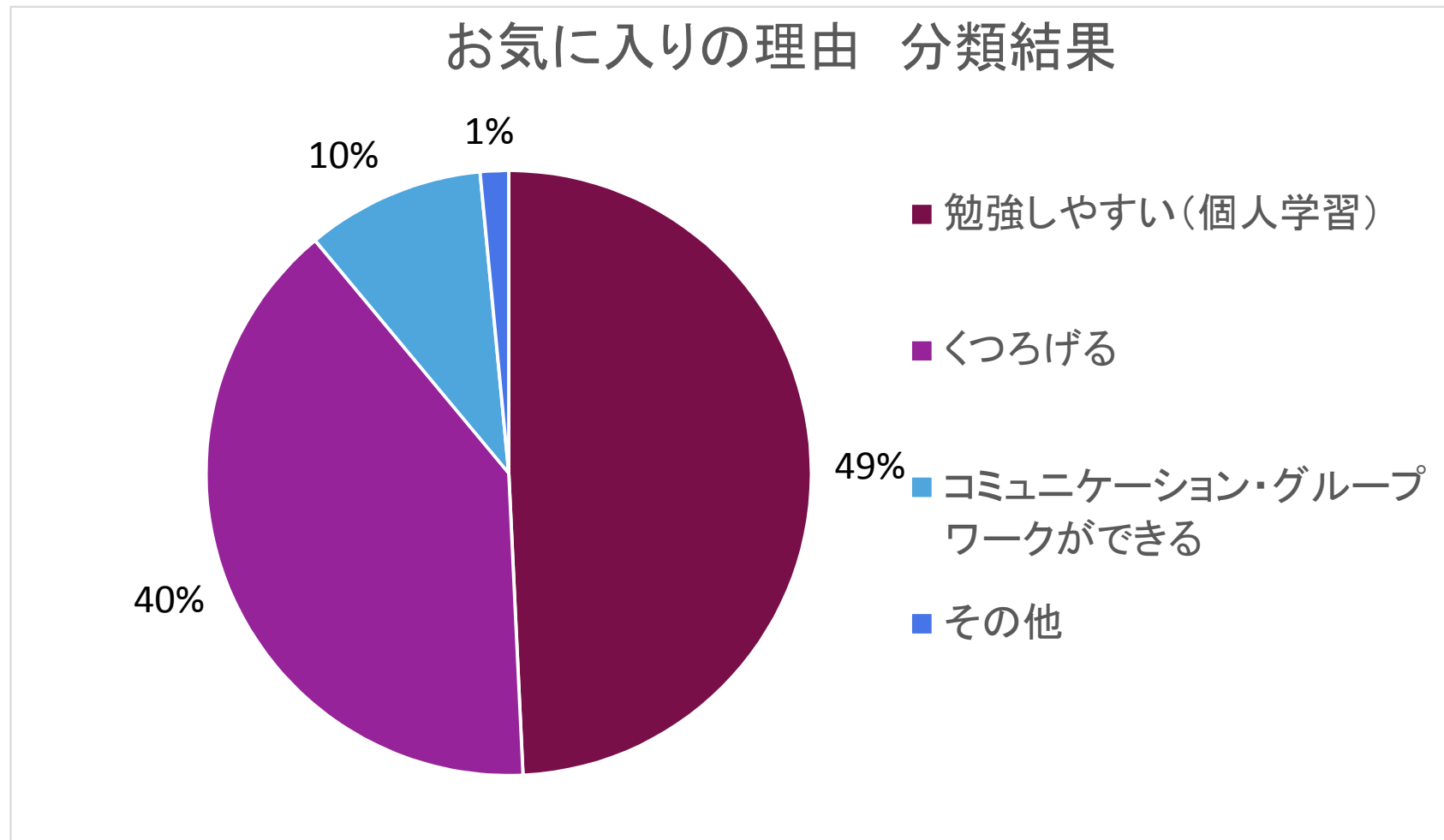
- LiSAって知っていた？ 67% やってみたい？ 25%
- ラーニング・アドバイザーって知っていた？ 50%
- 図書館のレファレンスサービスって知ってる？ 20%

# ワークシート結果分析 (餌取さんまとめ)

図書館内のお気に入りの場所



# ワークシート結果分析 (餌取さんまとめ)



# 新図書館構想WGの取組み

過渡期:  
教育のあり  
方の変化が  
まだ浸透し  
ていない?

## ● 学生へのアンケート②

(3) 図書館にあったらいいなと思う空間機能は？

– 学修空間: アクティブラーニング(能動的学修)のために  
必要なスペース(複数選択可)

○ <u>集中して学習／研究するための個別空間</u>	88%
○ <u>パソコンを使って自習／共同学習ができる空間</u>	82%
○ <u>学習サポートのためのオープンな空間／個別空間</u>	73%
○キャリア支援・キャリア教育のための空間	52%
○学習研究の成果物を作成するためのラボ(大型プリンター等)	50%
○e-ラーニングのための空間	40%
○パソコンやプロジェクタを使った授業(WS)ができる空間	25%

一位 パソコンを使って自習/共同学習ができる空間  
二位 学習サポートのためのオープンな空間/個別空間  
三位 パソコンやプロジェクタを使った授業(ワークショップ)ができる空間

教員の視点

# 新図書館構想WGの取組み

## ● 学生へのアンケート③

(4) 図書館にあったらいいなと思う空間機能は？

－ コミュニケーションスペース(複数選択可)

- |                             |     |
|-----------------------------|-----|
| ○オープンなコミュニケーションスペース         | 70% |
| ○飲み物を飲みながらコミュニケーションができるスペース | 86% |
| ○軽食を食べながらコミュニケーションができるスペース  | 70% |

それは「図書館にあるからいいの？」

「図書館でなくても、学内のどこかにあればいいの？」

集中と協働  
静と動の  
両方が求めら  
れている

# 学習支援は大学内のどこで どのように行われているのか①

## ● 学生・キャリア支援センター

2007年以降継続的にコラボレーション

### — キャリアカフェで、各種イベントが盛況！

内定者体験報告会／内定者による就活サポートコーナー  
日常的な進路・就職アドバイス／キャリアデザイン相談  
企業合同説明会(ブースを複数設置)／OG懇談会

## ● 情報基盤センター

図書館内のパソコン活用は全てITセンターとの協働

### — 特別経費終了後の安定的サービスに向けて共同戦線

IT関連の学習環境(モノ／ヒト)の整備は経常的に必要

# 学習支援は大学内のどこで どのように行われているのか②

## ● 総合学修支援センター

- 学修プロセスの構築をサポートします
- 「複数プログラム選択履修制度」を全面的にサポート
- 学内共同教育研究施設として、総合的な学修相談、学修指導などの支援を行い、本学の教育活動に資することを目的としています。
- 教職員や専門のスタッフなどに、複数プログラム選択履修制度に関するさまざまな相談をすることができます。

# 学習支援は大学内のどこで どのように行われているのか③

- 学習支援系の組織は？
- 教育開発センター
  - 多次元的な学士力養成を担う総合的学修支援
    - － 学修支援情報システム alaginの開発運用

alagin (Academic Learning and Achievement Guiding Information Network system) は、大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム「多次元的な学士力養成を担う総合的学修支援」事業において開発した学生にとっての学修支援情報システム(時間割表示システム + 学修状況チェックシステム)です。

- － 学士課程における各科目のカリキュラム体系上の位置付や水準(ベンチマーク)を5種類のカラーコードで類別

いわゆるルーブリック？



## 学習支援は大学内のどこで どのように行われているのか④

- 授業の中で行われている(少人数制)
  - 例:イスラム研究の方法～論文執筆まで
  - オーダーメイド講習会:文献検索～入手を図書館が講習
- 学科・コース、教員個人で行っている

### > 各学部・研究科対象のアンケート

#### 卒業論文・修士論文等の執筆の手引きについて

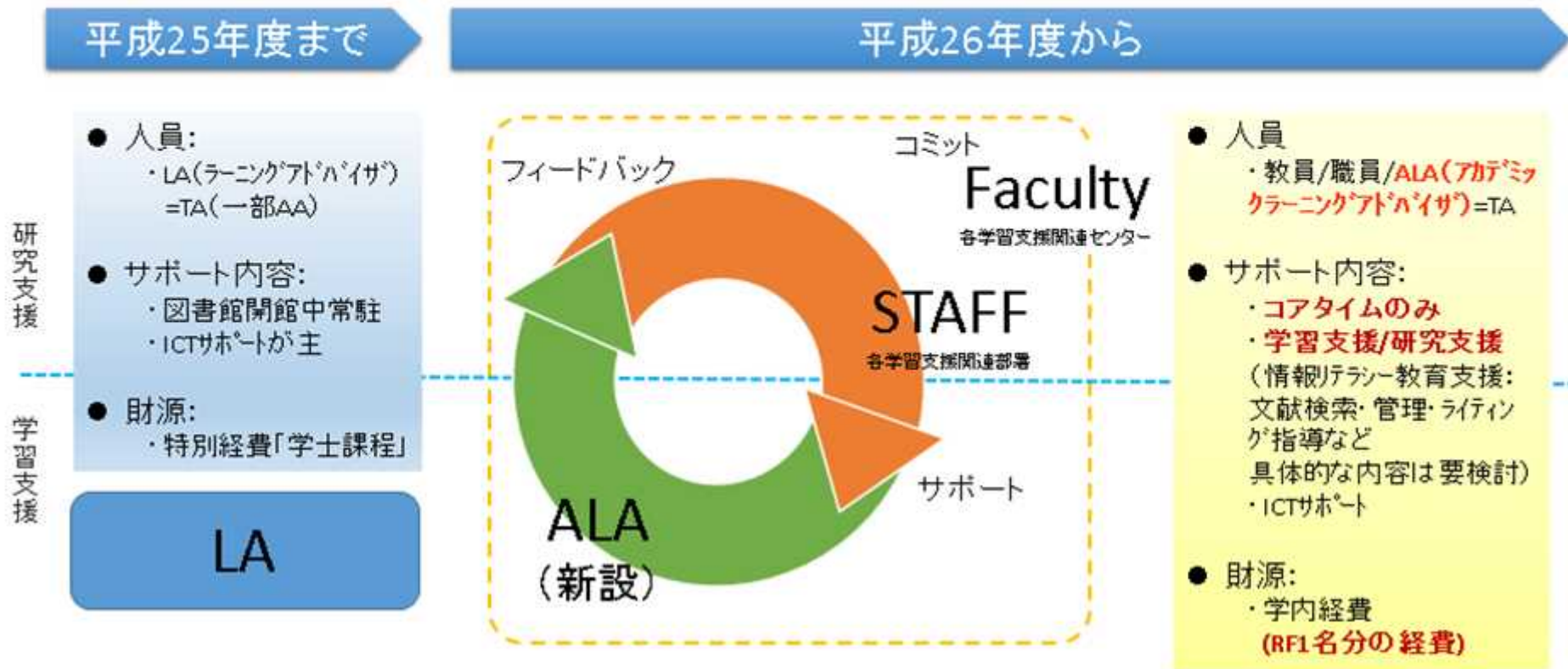
- 「手引き」を作成されていますか? >>22の図書室に調査依頼
- ご提供いただけますか? / Teapotで公開してもよろしいですか?  
何らかの「手引き」作成:半数以下  
ピアサポートを取り入れている講座もある

# 学習支援まとめ

- 学習支援は学内の各所で実践されているが全体として連携するには至っていない
  - スタッフやピアサポートによる学習支援に対する期待はそれなりに高い
  - 図書館がオープンマインドであることは学内で認知されている
- ハード面だけではなくソフト面で展開
- ニッチなニーズの掘り起し
- 個別に動いているプロジェクトを繋ぐ役割

# 図書館における学習支援プラン

図書館ラーニングコモンズ(LC)における  
学習/研究支援機能の強化 Part II (案)



※新図書館構想WGから提案した人材育成方策を可能なところから前倒しで実施  
 ※新図書館構想は建物だけではない。建物が建っていないなくても、できることはある！？

# LALA (Library Academic Learning Advisor) の枠組

- 2014年度メンバー

比較社会専攻 : 5名 (後期: 5名、前期: 0名)  
 理学専攻 : 3名 (後期: 1名、前期: 2名)  
 ジェンダー専攻 : 3名 (後期: 2名、前期: 1名)  
 計: 11名 (応募13名)



- 授業期間中

	9:00~12:00	12:00~15:00	15:00~18:00
月	理学/後期	比較社会/後期	ジェ/前期
火	比較社会/後期	理学/前期	比較社会/後期
水	ジェ/後期	理学/前期	比較社会/後期
木	比較社会/後期	ジェ/後期	理学/後期
金	ジェ/後期	比較社会/後期	理学/前期

- 授業期間外

	10:00~13:00	13:00~16:00
月	ジェ/後期	比較社会/後期
火	比較社会/後期	理学/前期
水	比較社会/後期	ジェ/前期
木	ジェ/後期	理学/後期
金	理学/前期	ジェ/後期

- ★内容: ICTサポートに加え、学習支援を行う  
 (主に、学部学生のレポート作成のサポートから着手。図書館だけで実施するのは難しいので関連する先生方や各センター、課チームと相談しながら進めていきます)
- ★経費: 学内経費
- ★広報: 現在は試行的位置づけ。第2学期からは本格サービスと位置づける。先生方から学生さんにアナウンスをお願いしたい。

# LALA (Library Academic Learning Advisor) の取組①

- キックオフミーティング 4月7日(月)10:00-12:00

内容: 全員の顔合わせ、趣旨説明、自己紹介、第1回TP

参加者: LALA9名、スタッフ5名、オブザーバ:1名

自己紹介で出た話題:

## アカデミックスキルズに関する経験とLALAとしての抱負

- ・体系的な教育は受けたことが無い(多数)
- ・研究室の先生や先輩からの個別指導が主(多数)
- ・先輩の卒業論文や修士論文を見て書き方などは自己流で学んだ
- ・アイデアがあってもそれをどう構成したらよいのか解らなかった
- ・ロースクールでレポートや論文の書き方を徹底的に教育された
- ・コースで卒論・修論の共通のマニュアルはある
- ・修論の執筆が非常に短期間で、大変だった。個別指導をしていただいた
- ・試行錯誤で苦労した点もあるので、後輩の役に立ちたい(複数)
- ・LALAとしてアカデミックスキルズを身に付けつつ還元したい(複数)
- ・試行錯誤が多かった。論文の書き方を学べる場があれば、時間のロスを防げ効率が上がるのではないか



キックオフミーティング

## LALA (Library Academic Learning Advisor) の取組②

- トレーニングプログラム (TP)

- (1) 図書館情報探索講習会 (附属図書館: 4/7実施)
- (2) 論文の技法 (文教育学部教員: 5/29実施)
- (3) ライティング支援について (早稲田大学教員, チューター: 8月実施)

- 情報共有 / コミュニティでPDCA

LALAとスタッフのMLで情報交換

お茶大Moodle (Chimes: チャイムズ) で業務日誌

→ 情報共有

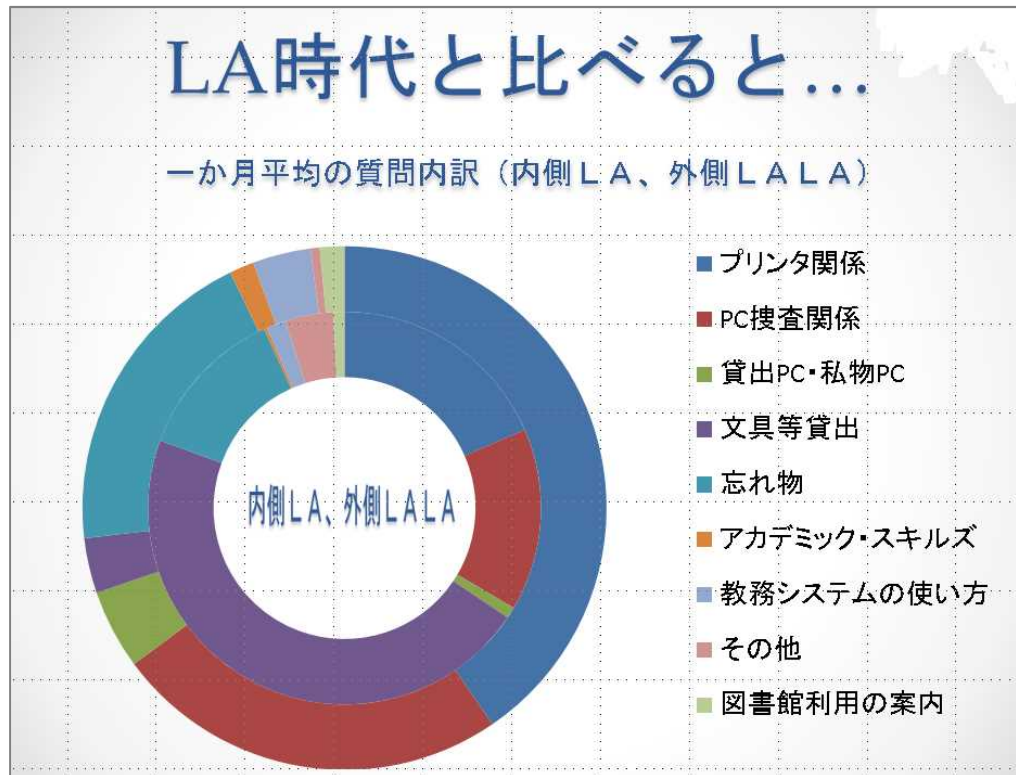
→ サービスにフィードバック

LAという財産があっ  
てこそLALA

キャリア教育の科目「お茶  
の水大学論」でも紹介。  
学生のリアクションシートに  
多くの反響。

## LALA (Library Academic Learning Advisor) の取組③

- 学生協働ワークショップin東京2014 で得られた気づき



### LALAの声

**サポートできる喜び**

- 役に立って感謝されたときが一番がうれしい

**自分自身も学べる**

- トレーニングシステムなど自分のためにもなる
- パソコン操作にも少しずつ詳しくなってきた

**今後の課題**

- もっと効率よく質問者のニーズに答えたい
- 他のLALAと仕事内容を共有したい
- LALAの仕事とは何かを改めて考えるべき
- PC操作だけでなく、論文指導もやっていきたい

## LALA (Library Academic Learning Advisor) の取組④

### ・学生協働ワークショップin東京2014 で得られた気づき


筑波大学のライティングに関する質問が、倍×倍で増加しているという話に衝撃を受けた。

筑波大学を訪問して、実際にサポートしているところを直に見てみたくなりました。数時間の見学でわかることではないかもしれないけれど、利用者の多さの秘密を知りたい。

(早稲田大学について)「学生目線でのサポート」をはっきりと打ち出していた点がいいなと思った。図書館サポートは多くの場合、強制ではなく、学生が自主的に参加してやっているものだから、もっと学生が主体的に活動に取り組んでもいいと思う。そうしないと、サポートをしている側も面白くないし、図書館自体の活性化にもあまり意味がないと思う。

#### ⇒その後の改善:

教員向けLALA広報パンフレットを教授会で配布  
LALAの学習支援に関する相談場所を別途設置  
トレーニングプログラム、第4弾、第5弾を企画  
フィードバックの機会をもっと設けるよう検討中



共に考え、共に  
創る  
パートナーと  
しての存在



# LALA (Library Academic Learning Advisor) の広報①

## New! 新たな学習サポート「LALAデスク」 (教 学)

LALA(ララ)とは？

- Library Academic Learning Adviserの略称。
- 教員、学外の専門家、図書館員からアカデミックスキルに関するトレーニングを受けた大学院生です。(トレーニングプログラム内容: 図書館情報探索講習会、論文の技法、ライティング支援)
- 2014年度メンバーの専攻(全10名)
 

比較社会専攻	: 5名(後期: 5名, 前期: 0名)
理学専攻	: 2名(後期: 1名, 前期: 1名)
ジェンダー専攻	: 3名(後期: 2名, 前期: 1名)

LALAの役割は？

- 学生が自ら考え自ら調べることが支援します。
- より専門的な内容の相談については、教員や他の窓口へと適切にナビゲートし、学生と教員の橋渡しをします。



授業外の学習時間がさらに充実！

学習・commonsの一角にあります

LALAデスク相談風景

文献の探し方、レポート作成など

ぜひ、学生に利用をおすすめください！

### 学生の声

質問しやすい雰囲気です。また活用できていると感じています。

### LALAの声

トレーニングプログラムや自己の学びにもなっています。

大学の集約分野や学外には、LALA活動がしたいです。本格的なアカデミック的なサポートがほしいと思っています。

## Library Services for Faculty

### お茶の水女子大学附属図書館における教育・研究・学習サービスのご紹介

(教 研 学)

図書館Webサイト <http://www.lib.ocha.ac.jp/>

お茶の水女子大学附属図書館 [library@cc.ocha.ac.jp](mailto:library@cc.ocha.ac.jp) ●学認, eduroam ●教育・学習サポートのための施設  
発行日:平成26年9月25日 ●新たな学習サポート「LALAデスク」

New! ガクニン データベース 電子ジャーナル  
学認: 学外からもDB/EJにアクセス! (研)

- 自宅や先でも、DBやEJを利用したい！  
普段から使っているお茶大アカウントで、学外にいてもDBやEJにアクセス可能！  
● これまでもproxyによる学外接続ができましたが、学認を利用すればブラウザ設定の手間が省けます！
- どうすれば学認を使えるの？  
利用方法は簡単！  
● 利用したいDBやEJのログインページにアクセス。  
● GakuNin やshibbolethといった記載のある選択部分からお茶大を選択し、お茶大アカウントでログインするだけ！

現在対応しているサービスは？  
今後、対応サービスは増加予定！  
● 現在は、CiNii, Springer, Scopus, SilenceDirect, EBSCO hostなどが対応。



出張時に エデュローム eduroam: 国内外出張先で無線LANが使える！

- 出張先でも無線LANを使いたい！  
● eduroamの利用方法は？  
まずは、利用のためのID/パスワードを取得  
● 国立情報学研究所 eduroam仮名アカウント発行システム <https://eduroamshib.nii.ac.jp/>  
● インターネットに接続している必要があるため出張前に手続きを。  
自分のPCに、eduroamの無線LANを設定  
● 設定方法は学内専用ページを参照。 <http://www.cc.ocha.ac.jp/f/menu5.htm>

# LALA (Library Academic Learning Advisor) の広報②

教育・学習をサポートする図書館設備



## グローバル・スタディ・コーナー(2F) New! 教学

語学学習に関する  
リソースを集中化!

- 2014年に設置された、語学学習用スペース。
- 様々な言語による語学学習用の図書を配架。
- ランゲージ・スタディ・ commonsの語学用PC(2台)。
- ちょっとしたチャットができるテーブルと椅子。
- 部屋全体がパーティションで囲われているので、少人数でのミーティングも可能です。

集中して  
学習できる  
個別の仕切り



グローバル・スタディ・コーナー

## ラーニング・commons(1F) 教学

レポート作成に最適!

- PC(Windows, Mac)と2台のプリンター、文具コーナーがある人気のスペース。
- 毎日多くの学生さんが利用。



オーダーメイド講習会

Refworks講習会  
11/4,5,6 12:30-13:10  
詳細は図書館Webサイトへ



ラーニング・commons

講習会もこの場所で

- 授業やゼミ単位で実施する情報リテラシー講習会や図書館主催の講習会を開催。

## 図書館開館スケジュール 10・11・12月

10							11							12						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1								6
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
							30													

○ 8:45~21:00    ● 8:45~17:00    ● 8:45~17:00 (閲覧スペースは閉室)  
○ 9:00~17:00    ● 12:00~17:00    ● 8:45~19:00    ○ 休館

※スケジュールは変更される場合があります。詳細は図書館Webサイトでご確認下さい。 <http://www.lib.ocha.ac.jp>



留学帰国報告会

普段は・・・?

個人やグループの自習スペースとして活用

イベント時には・・・?

様々な分野のイベント利用が可能

- 授業の成果の発表会や留学帰国報告会、就職支援関連など。

レイアウトを自由自在に変更して活用

- 机をいくつか組み合わせて大テーブルにする。  
⇒ 10数名でのミーティングに最適!
- 机を取り払って椅子だけを並べる。  
⇒ 最大約60名くらいまで対応可能!

ご利用頂ける備品

- プロジェクター、スクリーン、マイク、ホワイトボード、パーティションが借りられます。

まずはメールでご相談下さい [lib-serv@cc.ocha.ac.jp](mailto:lib-serv@cc.ocha.ac.jp)

多くの学生さんの  
目に触れる  
チャンス!

ご活用下さい!



授業の成果の発表会

土日も開いています!

# 本日の内容

- テーマと論点
- 学生の視点／学生協働
- お茶の水女子大学の取組み
  - LALA: Library Academic Learning Advisor
  - LiSA: Library Student Assistant
- **大学図書館の未来**

# 改めて大学図書館の存在意義

## ● 大学内外の学術・情報をつなぐ

図書館は全学／全領域に関わるだけに、どこに何があり、どこでどんな取り組みをおこなっているか、把握できる立場にある  
→ニッチなニーズの取り込み

## ● 大学のショーケースになる

教育メニュー：授業のコンテンツ、  
キャリア支援、グローバル教育、ICT教育  
研究メニュー：研究者データベース＋機関リポジトリ、  
E-Bookなど教育研究情報発信支援  
→ワンストップサービス(場所、人、モノ)

情報は  
待っていても  
集まってこない

# 大学の中での位置づけ

## ● キャリア教育の現場になる

高校の先輩がLiSA  
お茶大に入ったら  
LiSAになりたい

インターンシップ(就業体験)、ティーチングアシスタント(教育経験)

## ● ブランドになる

お茶大には司書課程は  
無いが、LiSA OGが図書館  
関係に就職する事例も  
増えている

### Internship in the university

授業の合間や放課後に学内でインターンシップ



**LiSA** (Library Student Assistant)

図書館業務のアシスタントを通じてキャリア体験を積むプログラムです。書架整理やラベル貼りなど軽微な作業から見学者のガイドまで多岐にわたる業務を経験、他機関との連携展示など、自主企画にも積極的にかかわります。



**LALA** (Library Academic Learning Advisor)

大学院生がラーニング・コミュニティで、ICTサポートのほか、文献探索や論文の書き方など後輩たちの学習支援を行うプログラム。ピアサポートを通じて教える経験を積んだり、アカデミックスキルズを身につけることもできます。



**広報アテンダント**

大学広報の仕事を経験しながら「情報発信力」「問題解決力」「おもてなしの心」を学びます。学外の方にキャンパスをご案内するキャンパスツアーのアテンダントの経験、大学広報誌の誌づくりなどに携わります。



**学内インターンシップ**

### キャンパスライフ 課外活動

経験すること、出会うこと  
チャレンジの一つひとつが  
夢を実現へ近づける糧となる



LiSAは図書館だけ  
ではなく、  
大学のブランド  
LALAも・・・？

# 未来はサービスの受手と共に創る

- もしもLiSAちゃんLALAさんがいなかったら？  
お茶大図書館の元気は半分以下になるだろう
- 学生協働がなければ気付けなかったこと
  - ・〇〇さんって、普段どんな学生生活をしているんだろう？ 卒論は？  
漠然とした、概念としての「利用者」「学生」「大学院生」ではない  
イキイキとした個性の集まりとして利用者を捉える
  - ・身近な社会人として「社会人基礎力」を発揮したいという良い意味での緊張感が持てる
  - ・短い期間で入れ替わっていく学生さん達により良いサービスを届けたい思いで常に改善をし続け、垣根を越えた活動ができる
  - ・変化に対する前向きさが未来につながる
- 学生は大学の鏡

「最も強い者が生き残るのではなく、  
最も賢い者が生き延びるでもない。  
唯一生き残るのは、変化できる者である」  
チャールズ・ダーウィン『種の起源』

# まとめ

ヒントは  
外にある  
答えは  
内にある

- 理念を持つ

何のために・誰のために我々は存在するのか

- 初めからカンペキを求めない

あとからでも改善できる／進化させられる

- 想像の翼を広げる

中・長期的ビジョンを描きつつ短期的に動く

- 共に学び・共に成長する気持ちを忘れない

大学で働くからには教育者の一端という自覚を持ちたい  
主体的に／生涯学び続けるのは、私たちも同じ